

環境に配慮した取り組み ～『ハイウェイ緑の里プロジェクト』を推進しています～

中日本高速道路株式会社は、「地域連携の強化、地域社会・経済への貢献」を推進するため、2007年5月から地域の皆さまと高速道路ののり面などを植樹や草花で緑化する「ハイウェイ緑の里プロジェクト」に取り組んでいます。今年で7年目を迎えます。

取り組みを始めてから累計42箇所で活動を行い、約2,800本の植樹、約5,500㎡の花壇整備を行い、延べ4,900人の地域の方々に参加・協力いただきました。

◆活動事例 【中部縦貫自動車道（安房峠道路）】

国立公園内に位置する安房峠道路 平湯料金所周辺では、町内会の子どもたちと一緒に、地域性苗木を活用した樹林の整備に取り組んでいます。

当社が地域の森から種を採取、NEXCO総研緑化技術センターで苗木育成を行い、町内会の子どもたちが植樹します。苗木を風雨から守るためのシートも設置します。その後は必要に応じて草刈りや施肥を行うなど、町内会の子どもたちと一緒に森を育てる活動を行っています。

今年は2年目となる植樹を、6月30日に予定しています。



【昨年の植樹の様子】 約40名で34本のトチノキを植えました

「ハイウェイ緑の里プロジェクト」の活動は、

- ① 自治会、学校、企業などの地域の皆さまに
- ② 高速道路のインターチェンジやのり面などを活用していただき
- ③ 樹木や草花を植えて
- ④ 地域や高速道路の緑化や美化を行い
- ⑤ 地域の皆様と当社と一緒に、地球環境の保全や沿道環境の改善・維持向上を推進する協働事業です。

当社は今後も引き続き、活動に参加・協力頂ける皆さまを募集し、地域連携の強化、地域社会・経済への貢献を推進していきます。